

安全上のご注意・使用上のご注意

- ご使用前に本書および取扱説明書や製品仕様書などに記載されている注意事項をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- 本書はタブレット製品共通のため、製品仕様によっては対象外となる項目を含む場合がありますが、念のためすべての項目に目を通してください。
- これらの注意事項に反した使用による不具合は、保証期間内であっても有料修理となる場合がありますので、詳細は修理・保証規約をご確認ください。

! 本書は必要なときすぐにご覧になれるよう、ダウンロードのうえお手元に保管してください。

安全上のご注意

人への危害や財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆ 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を区分して示しています。

- 警告** 死亡または重傷を負う可能性がある内容です。
- 注意** 軽症を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。

◆ お守りいただく内容を図記号で示したうえで説明をしています。

- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない指示です。

■ 本体について (内蔵バッテリーパック関連も含まれます)

警告

- !** ACアダプターを使用するときは、ACアダプターのプラグに容易に手が届く、電源コンセント付近で本機を使用する。「ACアダプターのプラグを抜く」必要がある事象が万一発生したときに、すぐに実施できないおそれがあります。
- !** 本機の変形・割れによる内部露出、発煙、異臭、異常音、触れないほどの熱、ビリビリと電気を感じるなどの場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く。そのまま使用を続けると火災や感電、けがの原因になります。
- !** 雷が鳴り始めたら、本機、本機に接続されているケーブル類や機器に触れない。感電の原因になります。
- !** 本機、ACアダプター、本機に接続されているケーブル類がぬれているときは乾くまで充電しない。感電の原因になります。
- !** 火中に投入しない。電子レンジなどで加熱しない。発火、破裂、火災の原因になります。
- !** 航空機に搭乗するときは、電源を切るか機内モードに設定する。航空会社による機内での使用制限にしてください。
- !** 病院内や、医療用電気機器付近では医療機関の指示に従う。本機からの電波が誤動作事故の原因になります。
- !** 油分・調味料・石鹸・洗剤・入浴剤・プール水・海水・温泉水・汗を含む液体や薬剤、金属物、燃えやすい物質を中に入れない。感電や、部品の腐食・劣化または内部ショートによる発煙、故障、機能低下の原因になります。
- !** うらカバーを開けない。分解・改造をしない。内蔵バッテリーを取り出さない。感電、発煙、発火の原因になります。
- !** 湯気、湿気、油煙、ホコリ、カビが多い場所、電磁気強い場所で使用や保管をしない。感電や発熱、発煙、発火、および故障・誤動作の原因になります。
- !** 釘など鋭利なものを突き刺したり金づちなどで叩いたりしない。内蔵バッテリーが傷つくと、発火、破裂、火災の原因になります。
- !** 野外、風呂場やシャワー室など、水などの液体がかかるおそれのある場所で使用や充電をしない。感電や、部品の腐食・劣化または内部ショートによる発煙、故障、機能低下の原因になります。
- !** 本機を高温状態や熱のこもる環境で使用や保管をしない。熱源付近、炎天下、晴天時の車内、直射日光があたる場所、熱がこもる環境で使用・保存すると、充電の強制休止、内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形、または発火、火災の原因になります。
- !** 本機をくるまない、おおわない、周囲をふさがない。本機内部の熱は、本機の表面全体から排熱されています。排熱が妨げられ続けると、内部が異常な高温になり、充電の強制休止、内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形、または発火、火災の原因になります。
- !** ハイセイフティ用途(生命維持やインフラ維持など)に関する特殊用途では使用しない。本機をハイセイフティ用途で使用されたことにより生じたいかなる事故・損害に対し、当社は責任を負いません。

注意

- !** 指定の充電方法、電源接続方法を守る。壁コンセントと付属(または正規オプション)のACアダプターや接続コードを用い、取扱説明書に記載された方法で電源を接続してください。指定以外の方法では、充電不良、起動不良、発熱、発煙、発火の原因になります。
- !** 落下や強打など本機に強い衝撃が加わったら、使用をやめてバッテリー交換を依頼する。動作できていても、バッテリー内に深刻な損傷が生じている場合は発熱、発煙、発火の原因になります。
- !** 充電中や電源ONの製品どうしを積み重ねない、接触させない。排熱が妨げられ内部が高温になり、充電の強制休止、または内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形の原因になります。
- !** 本機背面を壁などに密着据付けしない、狭い空間に密封しない。排熱が妨げられ内部が高温になり、充電の強制休止、または内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形の原因になります。
- !** 液晶画面に衝撃を与えない、尖ったもので傷つけない。表面のガラスが割れるとけがの原因になります。破損した画面からもれた液体が、顔や手などの皮膚や衣服などについたときはすぐに流水で洗い流してください。
- !** 定期的なネジを確認し、緩みを見つけたらカスタマーセンターに相談する。お客様による増し締めは、ネジ山潰れ(通称「ネジバカ」)やネジ受け部のひび割れなどの破損原因になるだけでなく、改造に相当し、保証対象外となる場合があります。
- !** 満充電状態でACアダプターを接続したまま長期放置しない。バッテリーにとって負荷が大きい満充電付近の状態、わずかな放電と充電がひんぱんに繰り返されるため、内蔵バッテリーの劣化が早まる原因になります。
- !** 寿命を迎えた内蔵バッテリーは、充電を中止してバッテリー交換を依頼する。バッテリーは消耗品です。寿命を迎えたバッテリーを充電し続けると、膨張や製品変形、起動不良の原因になります。カスタマーセンターに交換(有料)をご依頼ください。

■ ACアダプターについて (電源ケーブル関連を含みます)

警告

- !** ACアダプターや電源ケーブルは製品の付属品を使用する。内蔵バッテリーの発熱や発煙、短寿命化、充電不良の原因になります。
- !** 電源の延長コードや拡張タップの使用は極力避け、電源プラグは壁コンセントに直接挿し込む。延長コードや拡張タップなどを使用する際は電流量に十分にご注意ください。使用方法によっては発火、火災、感電の原因になります。
- !** 製品と電源ケーブルの抜き挿しや、電源コンセントからの抜き挿しはプラグ部分を持っておこなう。ケーブルを持っておこなうと、断線やショートによる発熱、発煙、発火の原因になります。
- !** 電源プラグの付け根を無理に折り曲げない。断線、発煙、発火の原因になります。
- !** 破損したACアダプターや電源ケーブルは使用しない。変形、割れ、傷がある場合は使用せず、カスタマーセンターからお取り寄せください(有料)。修復や修復品の使用はしないでください。感電、発火、火災の原因になります。
- !** 電源ケーブルをACアダプターにまかない。断線、発煙、発火の原因になります。
- !** 満充電状態でACアダプターを接続したまま長期放置しない。製品内蔵のバッテリーにとって負荷が大きい満充電付近の状態、わずかな放電と充電がひんぱんに繰り返されるため、バッテリーの劣化が早まる原因になるほか、外的リスクも高まります。
- !** 電源は 交流 100V (50/60Hz)の壁コンセントを使用する。商用電源以外の発動発電機や非常用バッテリーなどのご使用は、感電、発煙、発火、火災、故障の原因になります。
- !** 電源プラグにたまったホコリは取ってから使用する。壁コンセントとプラグの間のホコリが空気中の湿気を吸収して漏電し、発火、火災の原因になります。
- !** 電源ケーブルを繋ぎっぱなしで使用しない。内蔵バッテリーの発熱や発煙、短寿命化、充電不良の原因になります。 ※AC常時給電対応キッキング済モデルや、バッテリーレスモデルは本項の対象外です。
- !** 電源ケーブルを折り曲げない、ねじらない。また、その状態で使用や保管をしない。断線、発煙、発火の原因になります。
- !** ぬれた手で触れない。感電の原因になります。
- !** 水などの液体がかかるおそれがある場所で充電をしない。感電の原因になります。
- !** 落下させない。強い圧力を加えない。破損や内部損傷が起きると感電、発煙、発火、火災の原因になります。
- !** 布などでくるまない、おおわない。周囲をふさがない。発熱、発火、火災の原因になります。

■ 情報・通信セキュリティについて

注意

- 情報セキュリティが脆弱な場合、ブランド価値の失墜、損害賠償、営業機会の損失など、損害は甚大になります。特にクレジットカード情報やマイナンバー関連の情報など個人情報に紐づくデータを扱う場合はご注意ください。
- !** 通信に関するインフラやアプリには暗号化などのセキュリティ対策を施す。ネットワークへの不正侵入による、通信傍受やデータ漏洩などの原因になります。
 - !** ウィルス対策ソフトを導入する。特に外部ネットワークに接続する場合は、ウィルスによる不正アクセスや動作不具合などの被害の機会を減少できます。
 - !** 使用目的に応じて、ユーザーへのアクセス制限などをおこなう。商用利用の場合は、お客様が設定項目にアクセスしたり、端末内部のデータを持ち出したりしないよう、アプリやキッキングなどで適切に対応してください。
 - !** 通信の混信や切断を防ぐため、設置環境に十分配慮する。他機器との電波の混信や干渉、通信の不調によるデータ欠損や機器の誤動作などが生じないように、精密機器や金属製什器から離すなど、十分な事前確認を実施してください。
 - !** 定期的にデータをバックアップする。システムの不具合やウイルスによるデータ破壊、修理時のデータ消去などに備え、定期的なデータのバックアップを実施してください。
 - !** 廃棄前には確実にデータを消去する。製品廃棄時は認可業者に依頼するだけでなく、事前にデータ消去を実施しデータ漏洩防止に努めてください。

使用上のご注意

本書は取扱説明書の副次的な内容を記載しています。ご使用前に本書にも必ずお目直しをお願いします。

リチウムイオンバッテリー(充電電池)について ※バッテリーレスモデルは本項対象外

- ◆当社のバッテリー内蔵モデルでは、リチウムイオンバッテリーの一種であるリチウムイオンポリマーバッテリーを採用しています。
- ◆バッテリーは消耗品です。消耗品の交換は保証期間内・外にかかわらず有料です。

充電電池のサイクル劣化とは

電池残量が100%と表示されていても、実際の容量は充電のたびに発生するバッテリー内部の化学反応により徐々に減少し、この現象を「サイクル劣化」といいます。充電サイクルとは合計で100%になる充電*を1サイクルとカウントし、「(数値)サイクルバッテリー」の表記は、何サイクルの充電で満充電時の容量が初期性能の80%まで落ちるか、という数値です。スマートフォンでは300~500サイクルが一般的と言われ、例えば「800サイクルバッテリー」と謳われるモデルでは約2倍の性能であると言えます。
*例:0%から100%への充電で1サイクル、20%から80%までの充電では0.6サイクルとカウントします。
リチウムイオンバッテリーは従来方式のバッテリーと比べてサイクル劣化の進行度合いは緩やかになりましたが、原理的に消耗や劣化を避けることはできません。

リチウムイオンバッテリーの寿命の判断

リチウムイオン電池の寿命は、使用環境や使用頻度によって異なりますが、寿命が近づくと以下のようないずれかの症状が現れます。バッテリー寿命と判断された場合は、カスタマーセンターにバッテリー交換を依頼してください。お客様自身によるバッテリー交換はできません。

- ① 充電をしても、すぐに電池切れになる(製品の稼働時間が短くなった)
- ② 充電時間が短くなった
- ③ 電池残量表示が急激に減る
→満充電時に稼働できる時間が、初期の稼働時間の50%以下にまで低下していたら寿命と判断
→同30%以下まで低下している場合は、使用を中止(サイクル劣化などにより充電できる最大容量が減っています)
- ④ 充電時間が長くなった・充電が進まない
→数時間充電しても充電が進まないときは寿命と判断(過放電(電池残量ゼロ)の状態が長期放置した場合に発生することがあります)
- ⑤ 充電中に今までは違い明らかに熱くなる
- ⑥ バッテリーが膨張している
→充電中の過度な発熱はバッテリー膨張の一手手前の症状であり、いずれの場合も寿命と判断
※バッテリーパックが膨張しても、厳重に密封されており直ちにガスが外部に漏れる心配はありませんが、膨張により製品内の他の部品を圧迫し、誤動作や損傷などの二次被害の原因にもなります。
- ⑦ 充電中に、急に充電が停止してしまう
→高温による強制停止の可能性があるので、再確認
※バッテリー周囲の内部温度が45℃を超えると、安全のため充電は強制休止しますので、高温環境や排熱が妨げられる環境で使用している場合は環境を改善し、数時間後に再度ご確認ください。

バッテリー性能の確認方法

バッテリーの稼働時間や充電時間は、お使いのアプリ、接続機器、室温などで大きく変化するため、性能の変化はお客様の使用環境でご確認いただく必要があります。

- ・使用する環境が整いましたら、まずバッテリーだけで稼働できる時間と充電時間をお確かめください。
- ・その後定期的に、同一条件での稼働時間と充電時間、バッテリー膨張の目視確認を実施してください。

バッテリーをより長持ちさせるには

リチウムイオンバッテリーにとってサイクル劣化は不可避ですがその他の要因は取り除くことができます。

- ① 電池残量 0%、100%の状態を避け、余裕を持って充電をする
リチウムイオンバッテリーは電池残量が0%付近と100%付近で劣化しやすくなります。また、物質の性質上、数%分を繰り返し充電するより、ある程度まとめて充電するほうがバッテリーへの負荷を小さく抑えることができます。
当社のタブレットには独自の「バッテリー保護モード」を搭載しており、30%~75%*の範囲で使用・充電するように設定できますので、この機能をONにすれば劣化を極力抑えることができます。
*設定値は機種によって変更になる場合があります。
従来多用されていたニッケル系充電電池ではメモリー効果による劣化を避けるため、継ぎ足し充電は推奨されていませんでしたが、当社では、リチウムイオンバッテリーでは30%まで減ったら75%まで充電する、という形をお勧めします。
- ② 長期保管の際も、定期的に継ぎ足し充電をする(0%で長期間放置しない)
リチウムイオンバッテリーは、電池残量が0%の状態が長期放置すると過放電状態となり、再充電ができなくなったり、充電が進みにくくなることがあります。製品を長期保管する際は、保管前と保管後約3ヶ月ごとに55~75%程度まで補充充電してください。
- ③ 35℃以下の放熱性のよい環境で使用・充電する
製品内部の温度が45℃を超えると、バッテリーの化学反応が過剰になり劣化が加速します。使用環境だけでなく充電環境にもご配慮ください。
- ④ 製品付属のACアダプターを使用する
製品付属以外のACアダプターは故障や充電不良の原因になりますので、付属品をご使用ください。

JEITA「ノートパソコンやタブレットのバッテリーに関する基礎知識」もご覧ください。
https://home.jeita.or.jp/pc_tablet/news/210730.html

バッテリーのリサイクル(廃棄)

リチウムイオンバッテリーはリサイクルの対象であり、一般ごみでの排出はできません。また、お客様自身でバッテリーを取り出すことは大変危険ですので、絶対におこなわないでください。廃棄するときは、機器全体を小型家電リサイクル法の認定事業者へ委託し、個人のお客様も各自自治体のリサイクル方針に従って処分してください。



このマークはリチウムイオンバッテリーのリサイクルマークです。

電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ①本機を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ②万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
 - ③不明な点がある場合やお困りの場合は、文末のサポート窓口までお問い合わせください。
- また、タッチ決済機能搭載モデルは、一般利用可能なISM帯域の電波を使用しています。他機器(特に医療機器など)の電波との干渉による誤動作や故障の原因にならないよう、十分にご確認ください。

液晶ディスプレイについて

- ◆一部に点灯しない画素や常に点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によって色や明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。各モデルの有効ドット数(サブピクセル単位)の割合は製品仕様書に記載しています。
- ◆液晶ディスプレイおよび表面のタッチパネルは有寿命部品です。
- ◆直射日光などによる高温環境下では、液晶ディスプレイの画面が黒くなる黒化現象が生じたり、素材にしわが発生する場合があります。常温に戻っても不具合は解消されないことがありますので、特に車内への放置などには十分にご確認ください。本症状の修理は、保証期間内であっても有料です。

タッチパネルについて

本機のタッチパネルは静電容量方式であり、特定の利用環境では高周波の電磁場の影響を受け一点のタッチに対して複数回の反応がある、またはタッチした場所と異なる場所が反応するなどの誤動作をする場合があります。これら避けるために以下をお守りください。

- ・本機と高周波の発生源(蛍光灯など)を遠ざける。
- ・本機と高周波の発生源(蛍光灯など)の電源ケーブルを同じコンセントに接続しない。
- ・電源コンセントは接地を十分におこなう。

ハイセイフティ用途での使用について

当社製品は一般事務用、家庭用、商業店舗用などの一般用途を想定しており、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様が当社製品をハイセイフティ用途に使用されたことにより発生したいかなる請求につきましても、当社は責任を負いません。お客様にて、ハイセイフティ用途で求められる安全性を確保する措置を施していた場合も例外ではありません。

ハイセイフティ用途とは・・・

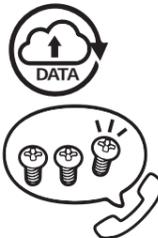
原子力設備に関連する機器、航空・宇宙機器、運輸設備に関連する機器、生命維持にかかわる医療用機器、兵器システムにかかわる機器など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を指します。当社では広義的にインフラ制御用途を含みます。

輸出および海外での使用について

- ◆当社製品の輸出(個人携帯を含みますが、本人使用が目的で持ち帰るものを除きます)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。許可が必要な製品を無許可で輸出すると、同法により罰せられます。輸出許可の要否につきましては、担当営業または文末のサポート窓口へお問い合わせください。
- ◆当社製品は日本国内専用仕様です。海外での使用を検討されている場合は、必ず当社までご連絡ください。各種調査・対応(有料)や技術サポートに関する協約が必要になります。
- ◆事前のご相談なく海外で使用された場合、申告以外の国での使用、製品指示や上記協約に反した使用・運用によって生じた不具合や損害、法令違反について、当社は一切の責任を負いません。
- ◆当社は海外での保守サービスを承っておりません。海外での使用中に起きた故障・損傷の修理は、保証期間内・外にかかわらず有料となります。当社カスタマーセンター(日本国内)への送料、および当社からの返送費用(返送先は国内に限る)もすべてお客様負担となります。

メンテナンスについて

- ◆本機内部に保存したデータなどは定期的にバックアップをお取りください。
- ◆外筐部品にネジを使用している機種は、製品設計上の想定を超えるような振動や落下等の衝撃により、ネジの緩みや発生する可能性があります。ネジの緩みや欠落が確認されましたら、カスタマーセンターまでご相談ください。当社によるメンテナンスや、お客様による確実なメンテナンス法をご案内します。お客様のご判断による増し締めは、ネジ山潰れ(通称「ネジバカ」)やネジ受け部のひび割れなどの破損原因になるだけでなく、改造に相当し、保証対象外となる場合があります。
- ◆軽い汚れにはよく絞ったマイクロファイバークロスなどをご使用ください。
- ◆消毒には本機の製品仕様書に耐薬性が記載されている薬剤をご使用ください。
- ◆本機をシンナー、ベンジンなどの揮発性有機溶剤が含まれているもの(化学ぞうきんや化学ハンディモップなど)で拭かないでください。
- ◆可燃性ガスを含むエアダスターのご使用をお控えください。



24時間連続稼働について

本機は24時間連続稼働を前提とした設計ではありません。1日に1回は再起動を実施してください。24時間を超えるような長期連続稼働をおこなった場合、以下の現象や故障の原因になる場合があります。

- ・キャッシュなどの不用データ(garbage)が蓄積され続けることによる突然の動作停止。
- ・バッテリーを含む消耗品の早期劣化、有寿命部品の早期劣化。(消耗品および有寿命部品の交換は保証期間内・外にかかわらず有料となります)

オーディーエス株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

お問い合わせ先
電話サポート窓口
製品サポートTOPページ

カスタマーセンター
0570-001134 (ナビダイヤル)
<https://ods.co.jp/support/top.html>

